

2026 年 10 月 16 日
株式会社フジ・メディア・ホールディングス【サンケイビル】
「KiGi AKIHABARA」ウッドデザイン賞 2026 を受賞都心の 9 階建て木造ハイブリッドオフィスビル
「KiGi AKIHABARA」が「ウッドデザイン賞 2026」を受賞
国産材 100%と木質耐火・耐震技術で、都市木造の普及可能性を提示

当社子会社の株式会社サンケイビル(以下、サンケイビル)・株式会社熊谷組・住友林業株式会社は、3 社が事業・設計・施工に携わった木造・鉄骨造ハイブリッド構造のオフィスビル「KiGi AKIHABARA」が、一般社団法人日本ウッドデザイン協会主催の「ウッドデザイン賞 2026」を受賞したことをお知らせします。

「KiGi AKIHABARA」は、東京都千代田区東神田の限られた敷地に、鉄骨造の中央コアと木造フレームを組み合わせた地上 9 階建てのオフィスビルです。建物内の木材使用量は 87.31 m³で、すべて国産のカラマツ・スギを採用しました。同規模の建物をすべて鉄骨造とした場合と比べ、構造体の CO₂排出量を約 112.3t、約 19%削減すると試算しています。

さらに、「環境配慮型 λ-WOOD II®」「ドレスウッド®」「KS 木質座屈拘束ブレース」「木ぐるみ HB (有孔梁)」などの木質耐火・耐震技術を適材適所に採用し、都市の中高層オフィスに求められる安全性、木の質感、将来の分別解体性を両立しました。



外観



ラウンジ

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2026

詳細は下記 URL をご参照ください

https://www.sankeibldg.co.jp/news/files/261014_KiGi%20AKIHABARA%20Wood%20design.pdf